

東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みは

問 東京オリンピック・パラリンピックに向けた本市のこれまでの取り組み成果は。

答 一つは、平成28年度にJOC

次期ごみ処理システムの構築は

問 次期ごみ処理システム構築への考えは。

答 平成29年度末に施設整備基本構想を取りまとめ、平成30年度

医療的ケア児への支援は

問 医療的ケア児を受け入れる医療型短期入所施設についての考えは。

答 本市にある医療型短期入所施設は、県立福山若草園1カ所

不登校対策は

問 適応指導教室増設の具体は。

答 現在設置している2カ所に加え、北部、西部など児童生徒が

Cとのパートナー都市協定を締結したこと。この協定によりオリンピック・パラリンピックに向けた機運が高まり、本市のスポーツ振興に寄与すると考えている。またメキシコオリンピックチームについて県内最多となる8競技の合宿受け入れが決定したことである。

はこの基本構想を踏まえ、主要整備の形式や構成など、より具体的なごみ処理システムを施設整備基本計画として策定していく。併せて環境影響評価調査を行い、平成36年度以降のごみ処理システムの構築を着実に進めていく。

ある。こうした施設は、介護負担の軽減を図る役割も担っており、利用ニーズが高まっているため、さらなる提供体制の充実が必要であると考えている。そのためには医療関係者の協力が不可欠であり県とも連携する中で、協議の場において検討していく。

利用しやすい場所への増設や特別支援学級の児童生徒も入室できる体制づくりを検討するとともに、人や自然と触れ合う活動など適応指導教室で行う活動内容を充実させていく。

誠友会



藤原 圭二

平 たいら

機構改革の意図は

問 平成30年度の組織整備は。

答 簡素で効率的な組織体制を基本に、多様な行政課題に対応できるよう、農林水産と経済の施策の連携を一層図るため農林水産部を経済部に統合し、都市のコンパ

国民健康保険の具体的施策は

問 本年4月から国民健康保険の運営が市から県へ移管され保険料が上がるが、被保険者が納得できる施策の考えは。

答 県単位化による保険料の上昇を受け入れるに当たり、県に県東部の医療提供体制の充実を強く求めてきた。

昨年4月、県知事とのトップ会谈により福山・府中二次保健医療圏や岡山県南西部の医療課題を協議する会議が再開されることに

クト化の推進のため開発指導課を建築部から都市部へ所属変更する。

財政収支の展望は

問 将来の財政収支の展望は。

答 今後、財政環境は厳しさを増していくと予想される。引き続き、行政運営方針に基づき、不断の事務事業の見直しによる事業の選択と重点化や新たな財源確保、定員管理の適正化などの行財政改革に取り組み、厳しい財政環境の中にあっても、堅実な財政運営が可能となるよう努めていく。

なった。また、県が策定する第7次保健医療計画に小児救急医療の輪番制維持や高度拠点化の推進、総合周産期母子医療センターの設置の検討などが盛り込まれることとなった。引き続き県と連携し、県東部の医療提供体制の充実に取り組む。

本市では特定健康診査における個人負担の無料化や健診項目の追加など、これまでも保健事業に積極的に取り組んできたが、平成30年度はさらに糖尿病性腎症重症化予防事業を強化する。